

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : ダイナミック GC-S (Dynamic GC-S)
製造者 : MDI 株式会社
販売者 : MDI 株式会社
住所 : 〒210-0847 川崎市川崎区浅田 3-12-10
電話番号 : 044 - 201 - 6822
FAX 番号 : 044 - 344 - 2122
メールアドレス : reception@mdirect.jp
緊急連絡先 : 044 - 201 - 6822

2. 危険有害性の要約

GHS分類

【健康に対する有害性】

急性毒性 (経口) [区分 3]
皮膚腐食性・刺激性 [区分 1]
目に対する重篤な損傷/目刺激性 [区分 1]
生殖毒性 [区分 2]
特定標的臓器・全身毒性 [区分 1] 臓器(血液系、呼吸器、肝臓、腎臓)の障害。
(単回暴露) [区分 3] 麻酔作用
特定標的臓器・全身毒性 [区分 1] 臓器(血液系)の障害。
(反復暴露)

【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性 [区分 3]
水生環境慢性有害性 [分類できない]

GHS ラベル要素

【絵表示またはシンボル】



【注意喚起語】

危険

【危険有害性情報】

H301 - 飲み込むと有害
H314 + H318 - 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
H332 + H334 - 吸入すると有害、アレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
H336 - 眠気またはめまいのおそれ
H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H371 - 中枢神経、全身毒性の障害のおそれ
H373 - 長期にわたる又は反復ばく露による血液系、呼吸器系の障害のおそれ
H402 + H412 - 水生生物に有害

【注意書き】

[安全対策] P260 + P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと、避けること。

P264 - 取扱後は手や接触箇所の皮膚をよく洗うこと。

P270 - この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

P271 - 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

[応急措置] P301 + P330 + P331 - 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

P303 + P361 + P353 - 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310 - 直ちに医師に連絡すること。

P321 - 特別な処置が必要である。本第 4 項参照のこと。

[保管] P404 + P410 - 密閉容器に保管すること。日光から遮断すること。

[廃棄] P501 - 内容物および容器は承認された廃棄物処理場にて適切に廃棄すること。

[使用上の注意]安全データシート(SDS)を参照のこと。

3.組成、成分情報

含有成分	CAS No.	含有率
陰イオン界面活性剤	非公開	0.80%
メタ珪酸ソーダ	13517-24-3	非公開
イソプロピルアルコール	67-63-0	2.1%
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	4.3%
その他の成分	非公開	非公開
水	7732-18-5	残部

4.応急措置

- [吸入した場合] 空気の新鮮な場所に移し、安静にさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
 [皮膚に付着した場合] 流水/シャワーと石鹼でよく洗い、皮膚刺激が生じた場合は医師の手当てを受ける。
 [目に入った場合] 水で数分間洗い、コンタクトレンズを着用している場合は可能ならば外して洗浄を続け、刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。
 [飲み込んだ場合] 無理に吐かせずに口をすすがせ、直ちに医師の手当てを受けさせる。

5.火災時の措置

- [消火剤] 霧状水、粉末、泡、炭酸ガス、乾燥砂、等適宜
 [消化方法] 不燃性。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。

6.漏出時の措置

- [人体に対する注意事項] 作業には必ず保護具を着用する。十分な換気若しくは通気性の良い所で作業する。
 [環境に対する注意事項] 環境への放出を避ける。
 [除去方法] 可能な限り、ウエス等で吸着させたりして回収、必要があれば希釈して回収し、大量の水で洗い流す。

7.取扱い及び保管上の注意

- [取扱い]
 [技術的対策] ・吸入、皮膚への接触を避け、目に入らないように適切な保護具を着用する。
 ・取扱いは、換気の良い場所で行う。
 ・取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼等の設備を設ける。
 [注意事項] ・換気の良い場所を取り扱う。
 ・皮膚及び眼への接触を避ける。
 [安全取扱注意事項] ・取扱い後は、よく手洗い等を行う。
 ・適切な保護具を着用する。

[保管]

- [適切な保管条件] ・容器を密閉して、換気の良い場所で保管する。
 ・直射日光を避け、火気や熱源から遠ざけ、また凍結させない状態で保管する。

8.暴露防止及び保護措置

ばく露限界

化学名	CAS Number	日本産業衛生学会 許容濃度	米国産業衛生専門家会議 ACGIH
イソプロピルアルコール	67-63-0	400ppm	200ppm
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	20ppm	20ppm

- [設備対策] ・取扱い場所には、適切な換気装置を使用する。
 ・近くに手洗い、洗眼等の設備を設ける。

[保護具]

- [呼吸器の保護具] 呼吸保護具
 [手の保護具] 保護手袋
 [目の保護具] 保護眼鏡
 [皮膚及び身体の保護具] 保護服

【衛生対策】

- ・取扱後は、汚染品の一切をよく洗う。
- ・取扱中に飲食又は喫煙をしないこと。
- ・汚染された衣類は脱ぎ、洗濯してから再使用すること。

9.物理的及び化学的性質

物理的性状	[液体]	比重	[1.03]
色	[無色]	蒸気圧	[水と同じ]
臭い	[刺激臭]	蒸気密度	[水と同じ]
pH	[pH13±0.5]	蒸発率	[約 1.0]
沸点	[100℃]	水溶性	[完全水溶]

10.安定性及び反応性

予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定。酸性物質と激しく反応して発熱する。

11.有害性情報

急性毒性（経口）	[区分 3]
皮膚腐食性・刺激性	[区分 1]
目に対する重篤な損傷/目刺激性	[区分 1]
生殖毒性	[区分 2]
特定標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	[区分 1] 臓器(血液系、呼吸器、肝臓、腎臓)の障害。 [区分 3] 麻酔作用
特定標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	[区分 1] 臓器(血液系)の障害。

12.環境影響情報

水生環境急性有害性	[区分 3] 水生生物に有害
水生環境慢性有害性	[分類できない]

13.廃棄上の注意

廃棄は地域、国、現地の適切な法律及び規則に従って廃棄すること。

14.輸送上の注意

【国際規制】 該当しない

【注意事項】 容器漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15.適用法令

【化管法】	第一種指定化学物質:	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 エチレングリコールモノブチルエーテル
【労働安全衛生法】	法第57条表示および通知対象物:	イソプロピルアルコール エチレングリコールモノブチルエーテル メタケイ酸ソーダ
【毒物及び劇物取締法】	該当しない	
【消防法】	該当しない	

16.その他の情報

参考文献： NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

備考： [免責] このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠して作成しております。記載内容は通常の取扱いを対象としており、他の物質と組み合わせたり、混合するような扱いをする場合は、安全対策を実地の上でご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいていますが、すべての情報を網羅しているものではありません。まだ知られていない危険有害性を有する可能性がありますので、取り扱いの際はできるだけ安全確保に努め、ばく露を避けるよう十分ご注意ください。